

# 対象・患者背景

## 対象

前希釈HDFを6か月以上継続

かつ

一日尿量が400ml未満

17名

## 患者背景

男:女=10:7, DM(Ⅱ型):5名

年齢 : 58.5±13.5(33.5-83.5)歳

透析暦 : 10.2±9.3(1.3-28.3)年

当院治療暦 : 12.7±2.7(7-15)月

DW : 52.4 ±9.8 (32.6-67.3) kg

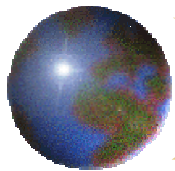
QB : 253.8±45.0(180-350)ml/min

QF : 181.3±51.3(100-250)ml/min

HFK面積 : 1.9±0.3(1.3-2.1)m<sup>2</sup>

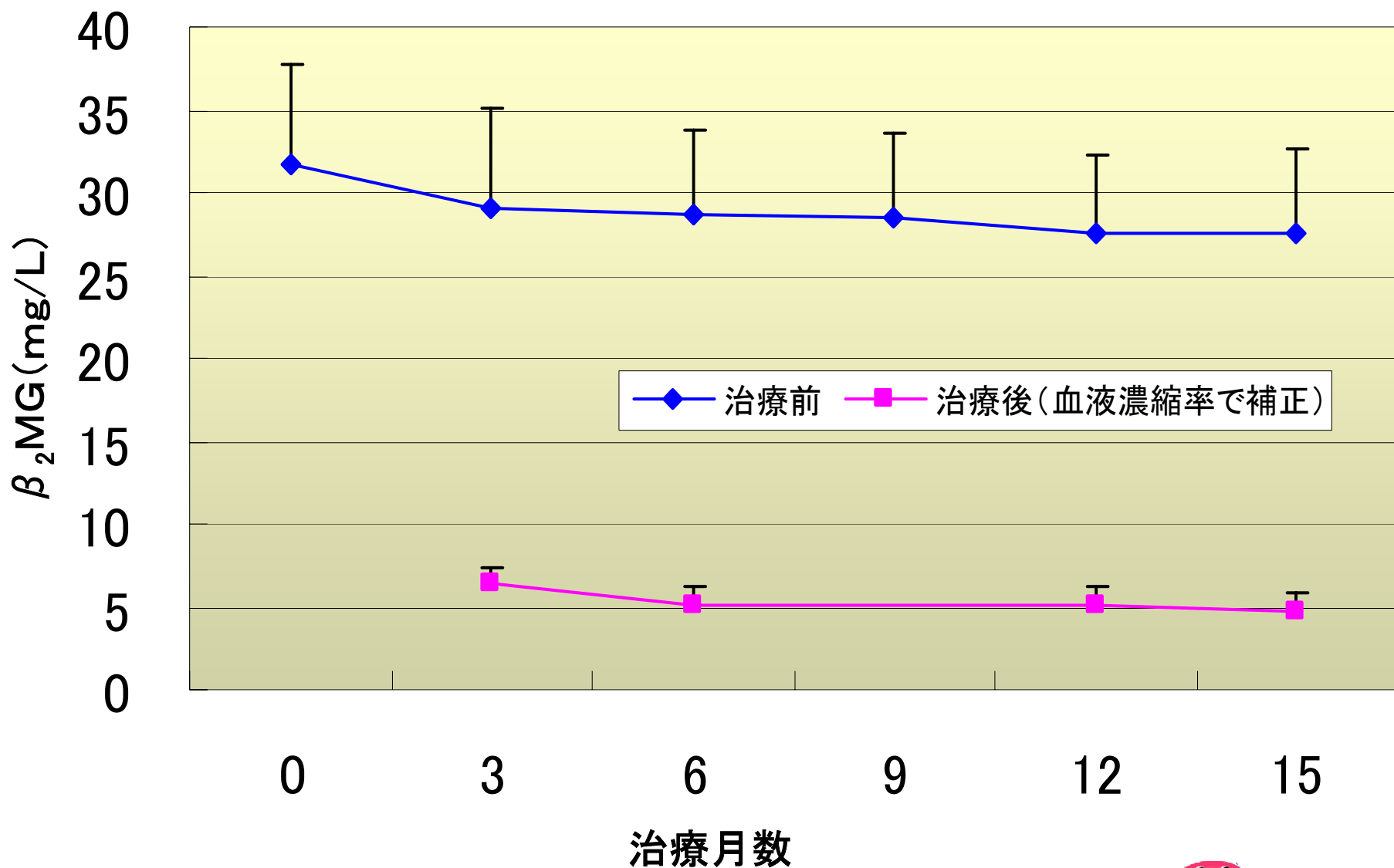
治療時間: 4.3±0.5(3.5-5)時間

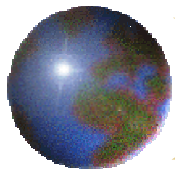
'02年7月時点



# 血清 $\beta_2$ MG値の推移

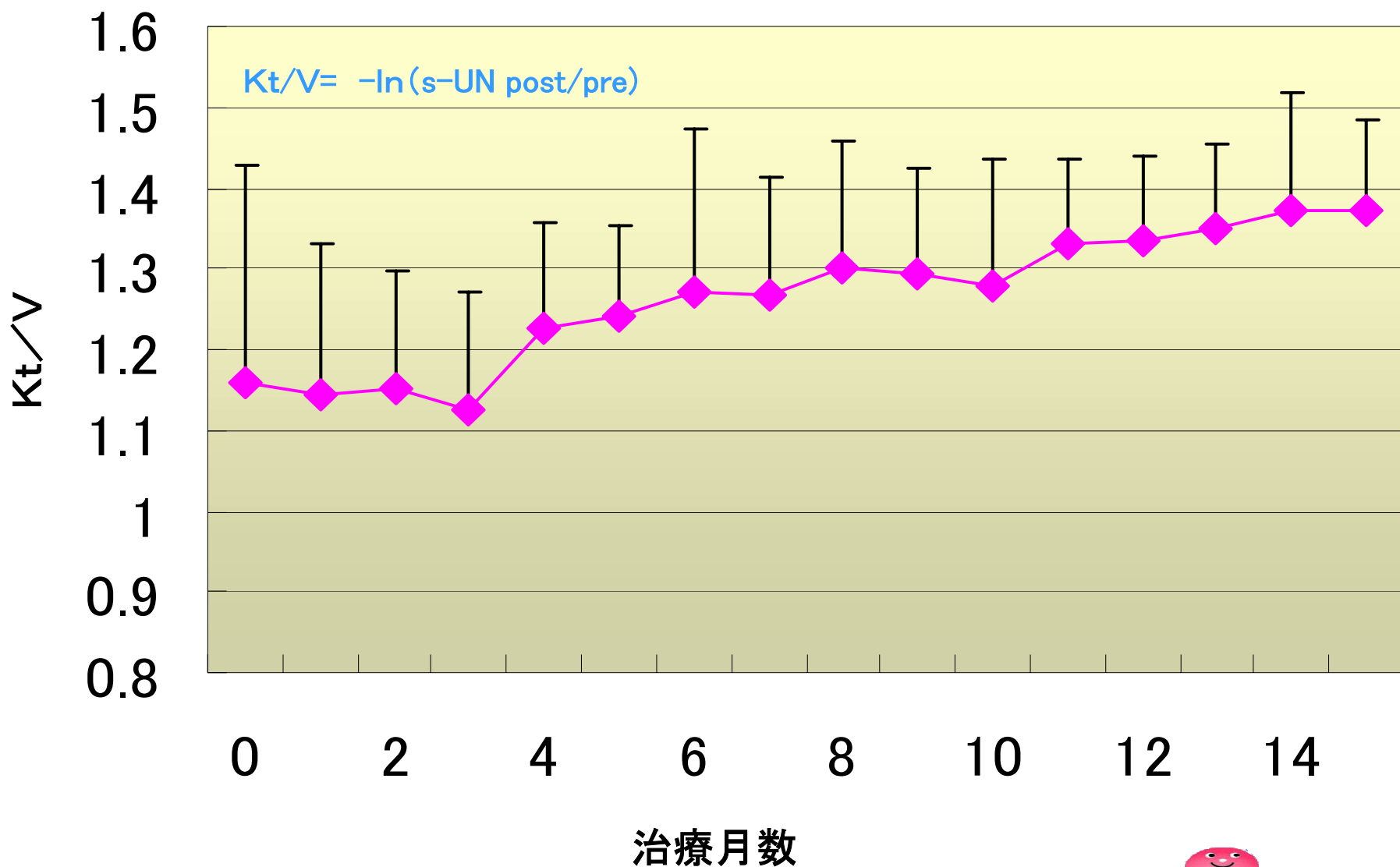
( $m+s.d.$ )

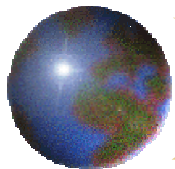




# $Kt/V$ for UREAの推移

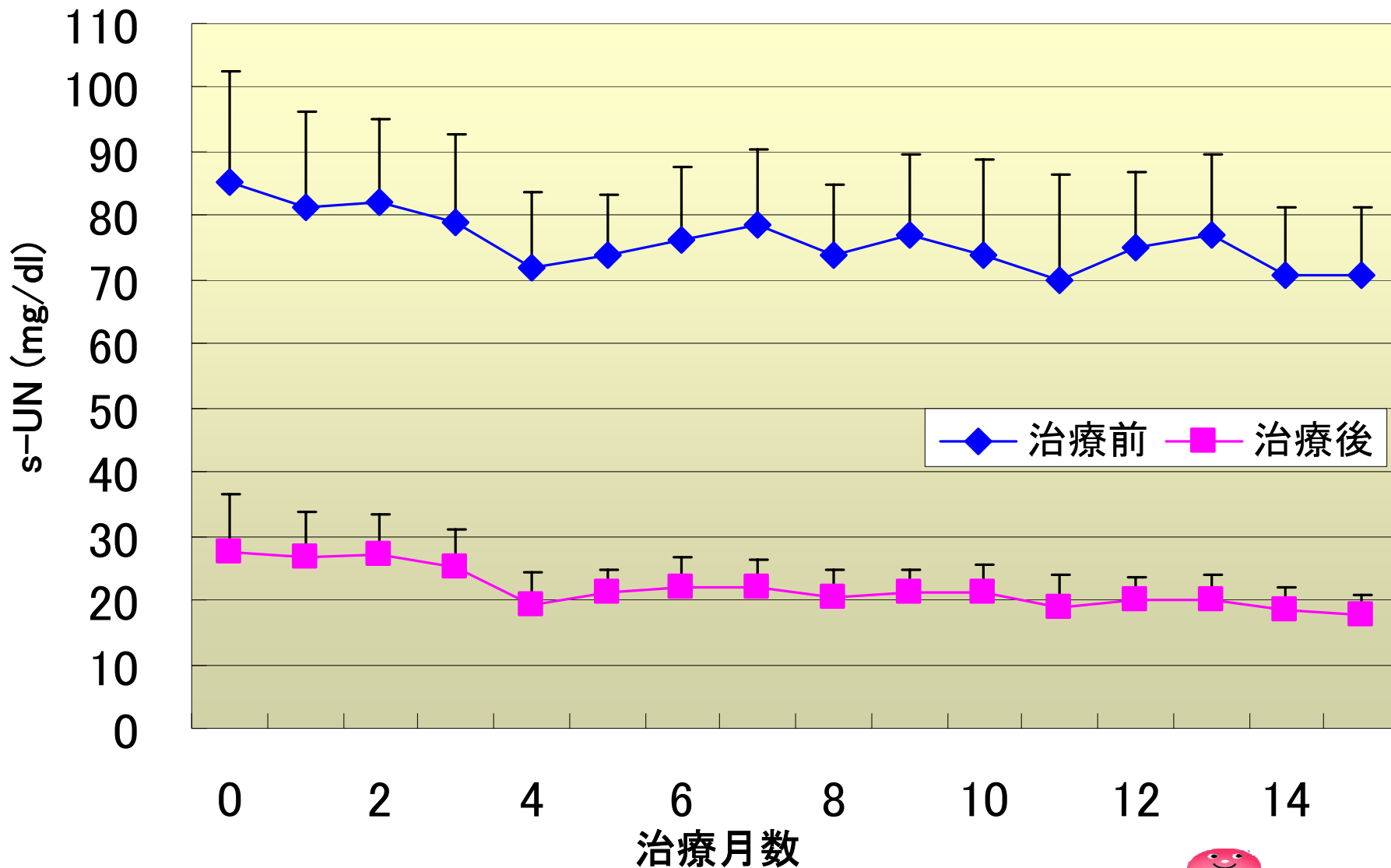
(m+s.d.)

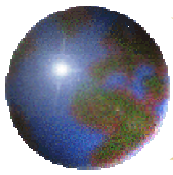




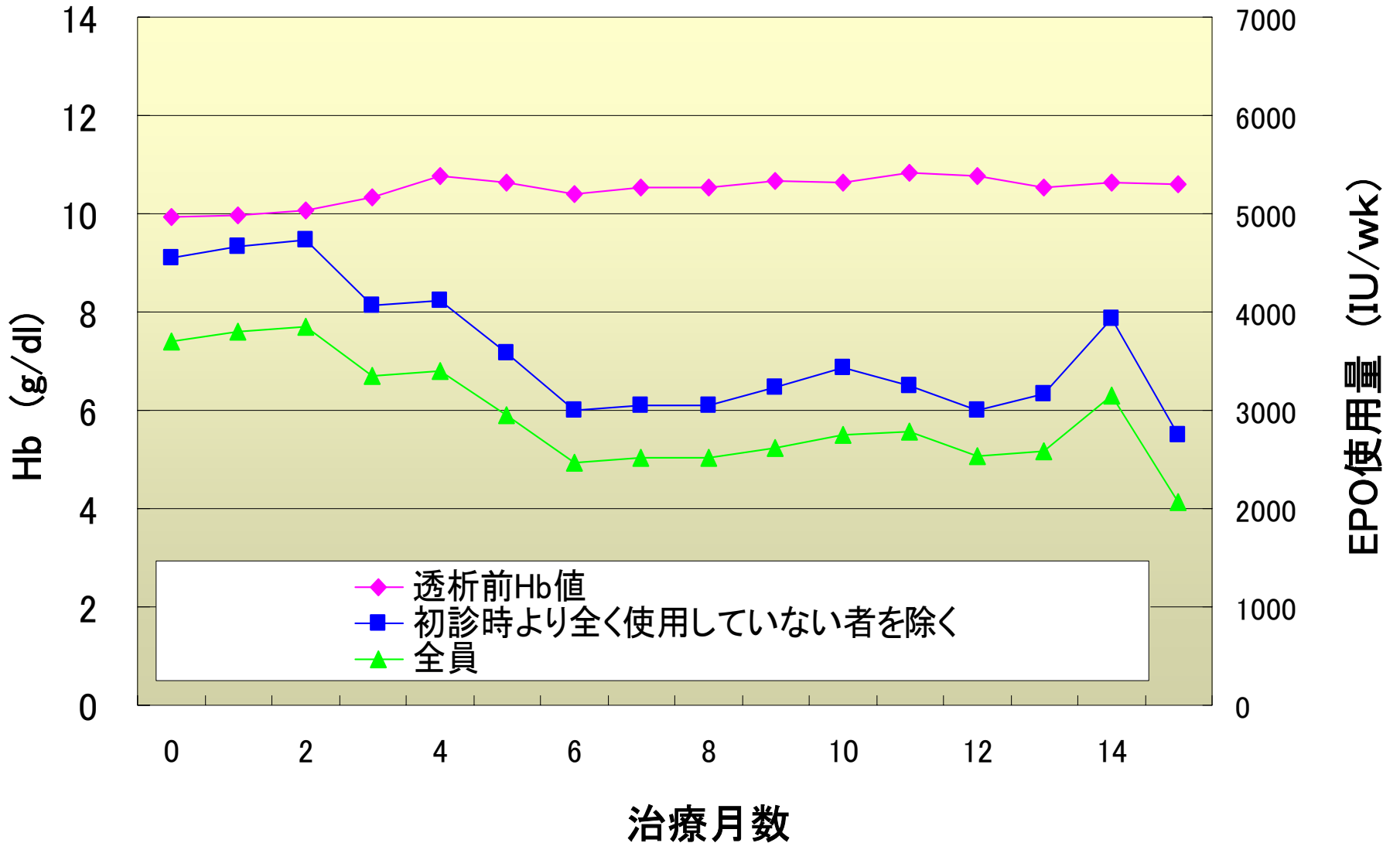
# 血清尿素窒素の推移

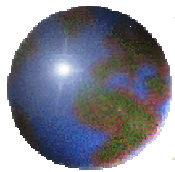
(m+s.d.)



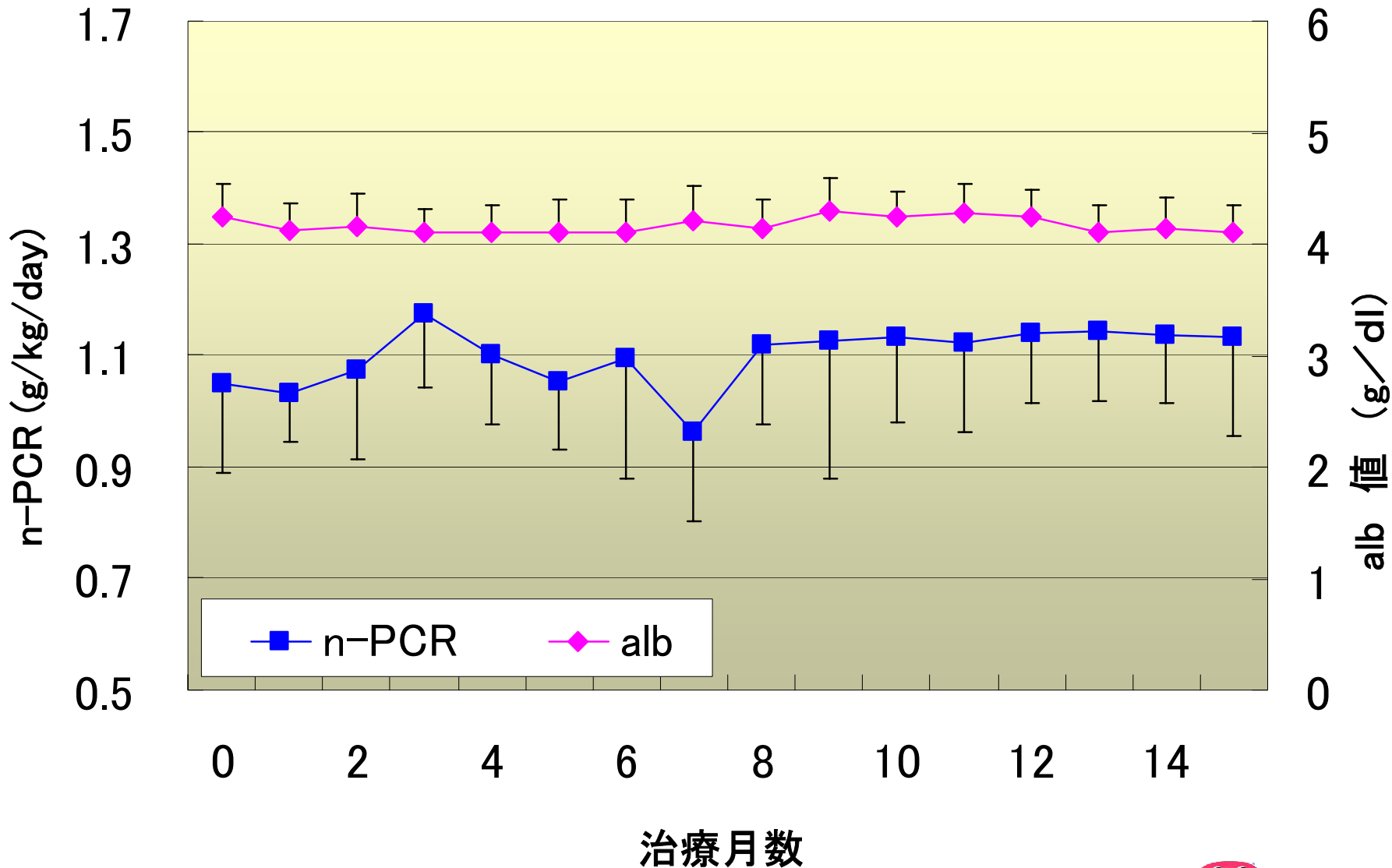


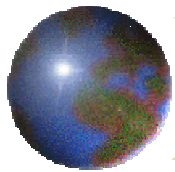
# Hb値とEPO使用量の推移 (mean)





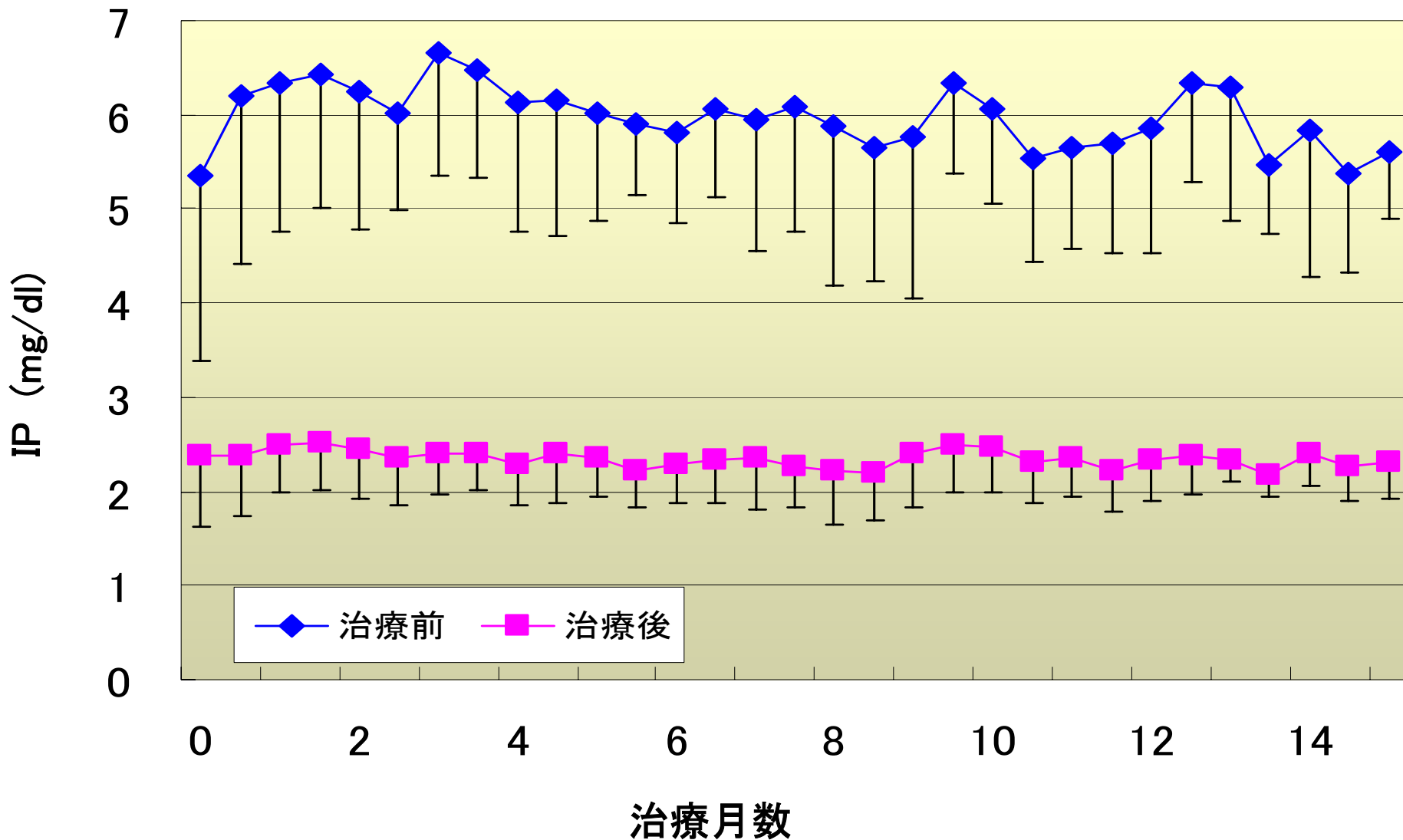
# n-PCRと血清alb値の推移 (m + or - s.d.)

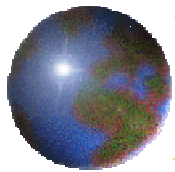




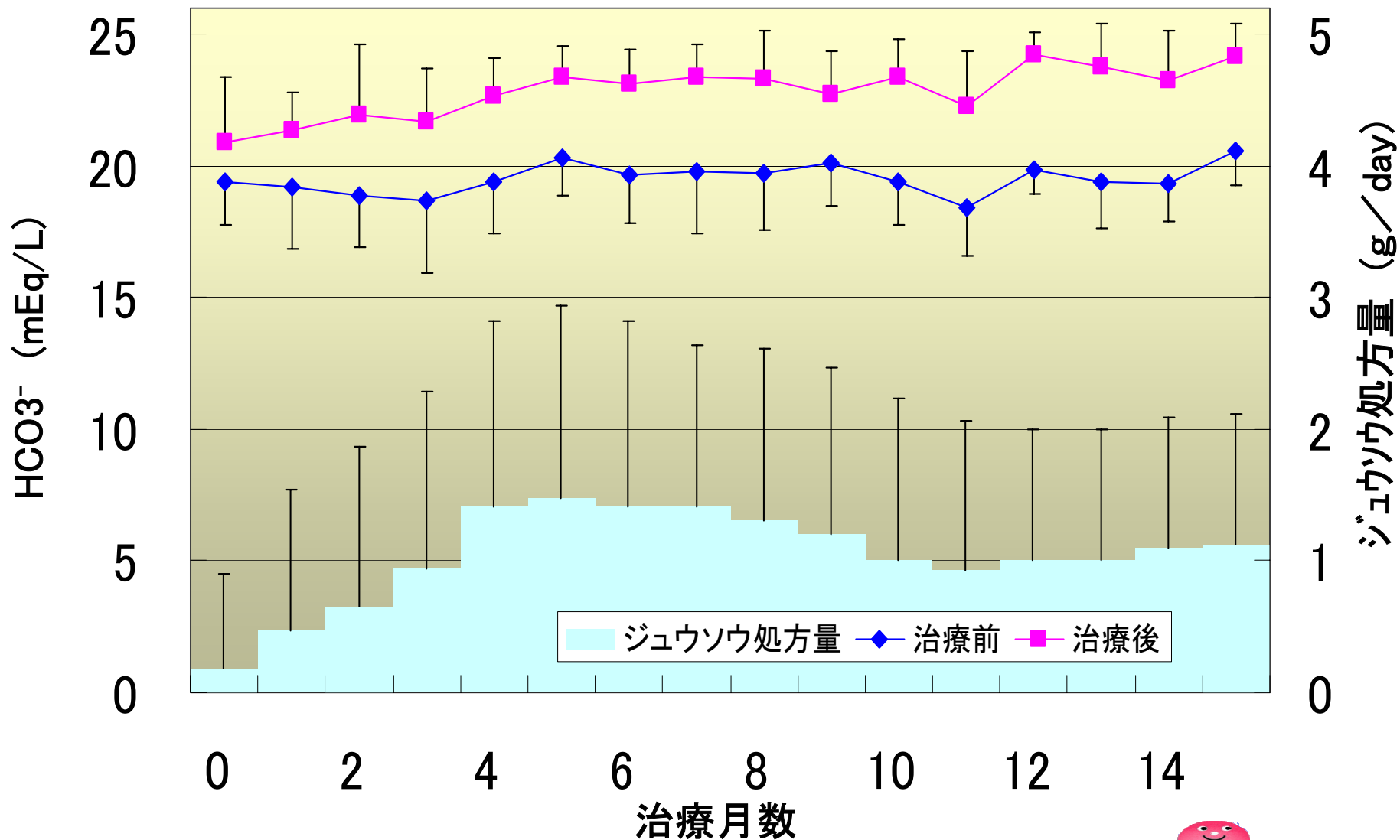
# 血清無機リン値の推移

(m-s.d.)

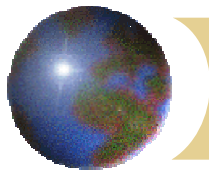




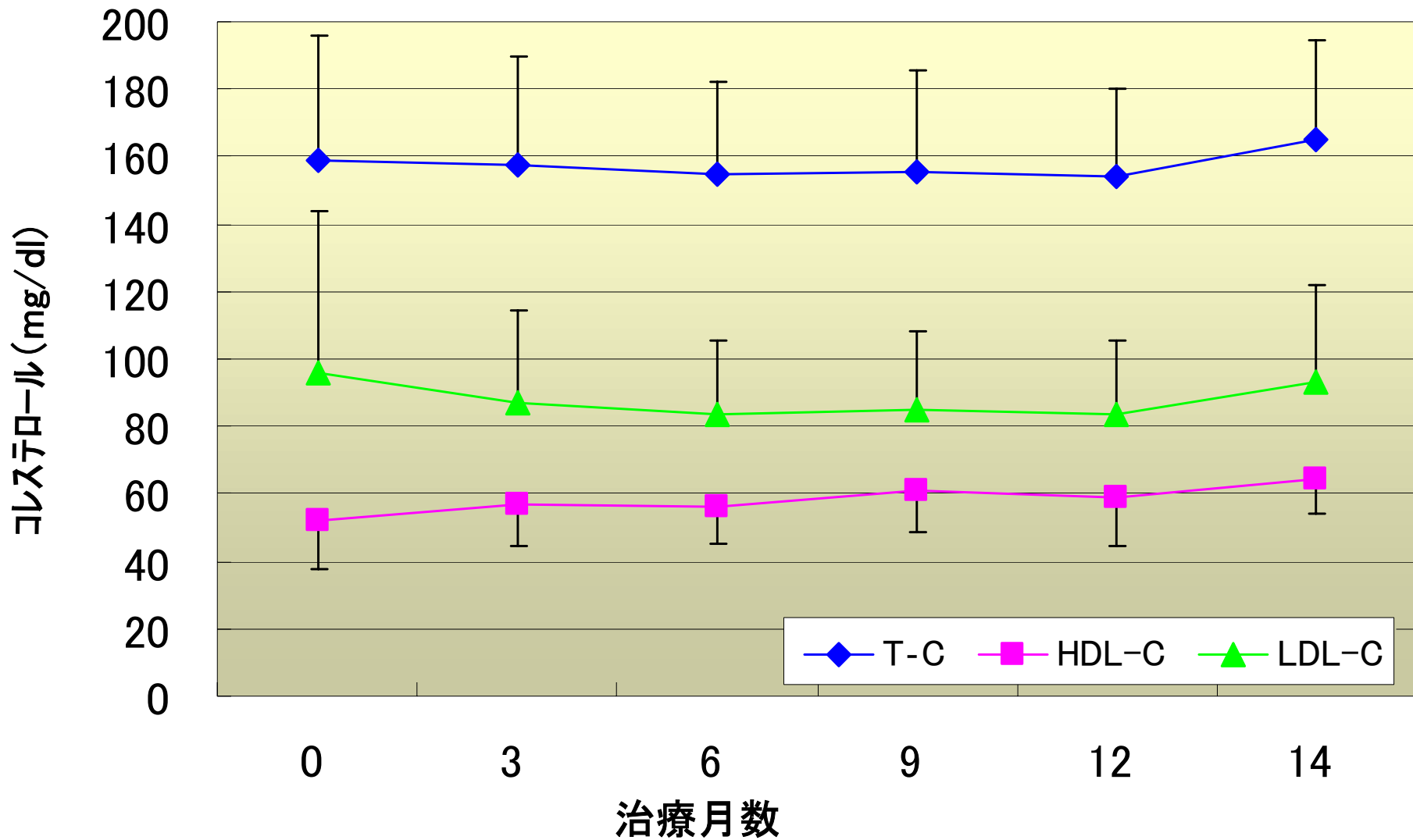
# 血中 $\text{HCO}_3^-$ 濃度の推移 ( $m \pm \text{s.d.}$ )

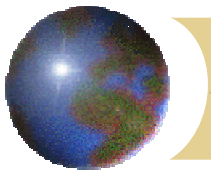






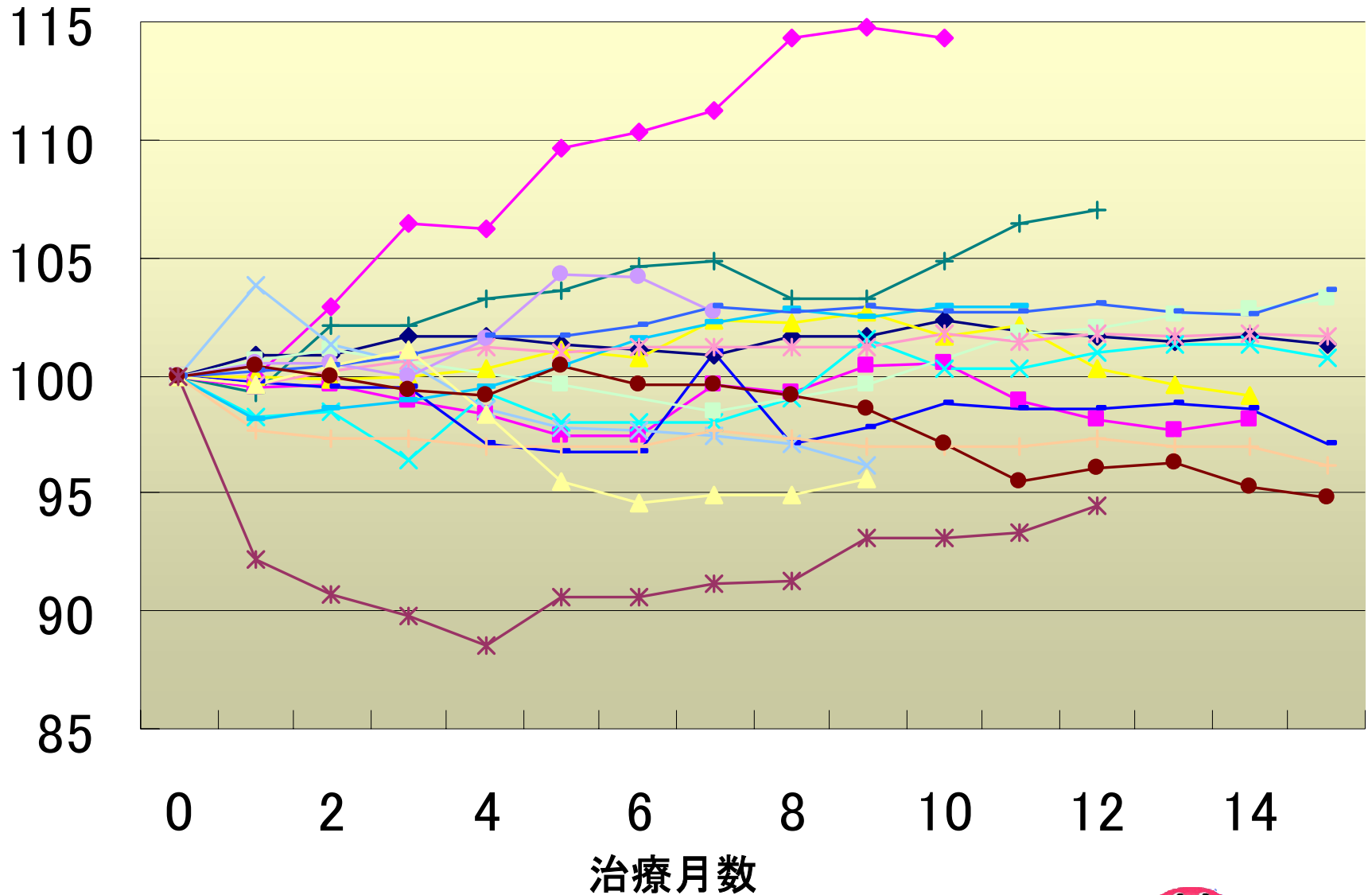
# 血清コレステロール値の推移 (m + or -s.d.)

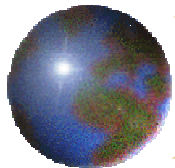




# DWの変化率

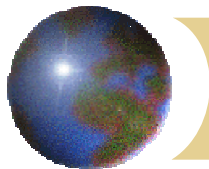
(初診時を100とする)





# その他の効果

- 透析中の循環安定(ハイリスク患者でも十分な透析)
- 透析による疲労感の減少
- 透析アミロイド症による症状の減少
- 皮膚掻痒の激減
- 皮膚色素沈着の減少・肌艶の改善
- ADL・QOLの向上
- 体重増加
- 医療費削減



# 問題点

- 血流量が多めに必要
- 体重増加
- 回収できないコスト増



## まとめ

前希釈HDFは

日常的透析治療として適切な治療法である

